

※標準的な訓練プログラムのため各学校の実情を反映した内容にする必要あり

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報による対応・避難訓練		
ねらい (学習目標)	1. 緊急地震速報の事前学習を生かし、緊急地震速報を聞いた時に自分の判断で自分の身を守る対応行動・避難行動を習得させる		
対象学年	小学生全般		
教科・イベント等	緊急地震速報による対応・避難訓練		
訓練形態	各教室（普通教室）→移動（教員による指示）→校庭		計30分
準備	ハンドマイク（校庭）、演台（校庭） 緊急地震速報訓練キット（チャイム音+アナウンス+地震の揺れの効果音）（気象庁） 緊急地震速報訓練用音源（津波に備える）（気象庁）		

■学習の流れ

構成	内容	教職員の行動	児童の行動
1 緊急地震速報 (2分)	緊急地震速報のチャイム音（4回）とアナウンス「地震です。落ち着いて身を守ってください」  地震の揺れの効果音	<input type="checkbox"/> 出入口を空けて通路を確保する <input type="checkbox"/> 児童の行動については教職員側から指示をしない  <input type="checkbox"/> 机の下にもぐれない／上手く行動ができない児童に対しては、教職員から指示を与える <input type="checkbox"/> 効果音の最中に、机から出てきた児童に対しては注意する	<input type="checkbox"/> 緊急地震速報を聞いたら、自らの判断で、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所へ移動し身を守る  <input type="checkbox"/> 教室では、机の下にもぐり、机の脚を対角線にしっかりつかみ、揺れが収まるまで待つ
2 訓練放送 (2分)	放送 「訓練、訓練、訓練。ただ今地震が発生しました。現在、校舎内の安全確認をしています。引き続き身も守る行動をとりなさい」	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、児童および教室内の安全確認（出入口、火の元、落下物）を行う <input type="checkbox"/> 教室外の避難経路の確認を行う <input type="checkbox"/> 自力で避難できない避難できない児童の避難準備にも気を配る	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、引き続き机の下で退避行動をとる <input type="checkbox"/> 教職員や校内放送の指示を、静かにきく
3 初期避難放送 (1分)	放送 「避難経路の安全が確認できました。先生の指示に従って校庭に避難しなさい」	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、児童に避難準備を指示する <input type="checkbox"/> 防災頭巾、ヘルメットの着用を指示する	<input type="checkbox"/> 教職員の指示どおり行動する

4 避難 行動 (5分)		<input type="checkbox"/> 準備が整ったら廊下に整列させ、人員点呼する <input type="checkbox"/> 出席簿を持つ <input type="checkbox"/> 児童を校庭まで移動させる <input type="checkbox"/> 「お・か・し・も・ち」のルールを守り、冷静に行動させる	<input type="checkbox"/> 「お・か・し・も・ち」のルールを守って校庭まで移動する  ※おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ちかづかない
5 点呼・ 安否の確認 (5分)		<input type="checkbox"/> 児童を整列させ、座らせる <input type="checkbox"/> 人員点呼し、本部へ報告する <input type="checkbox"/> 負傷者の応急手当をする <input type="checkbox"/> 行方不明児童がいたら、担当者が捜索を行う <input type="checkbox"/> 火災が発生した場合は、担当者が消火活動を行う	<input type="checkbox"/> 教職員の指示に従い行動する <input type="checkbox"/> 座って、静かに待つ
7 振り 返り (2分)	児童の感想	<input type="checkbox"/> 感想を児童と一緒に聞く ※児童の「わがこと意識」(自分自身の問題であることを醸成させる)	<input type="checkbox"/> 指名された児童は感想を述べる <input type="checkbox"/> 感想を静かに聞く
8 指導 講評 (5分)	災害対応従事者(気象台、消防など) 校長	<input type="checkbox"/> 講評を児童と一緒に聞く	<input type="checkbox"/> 講評を静かに聞く
8 終了 (8分)	教室への移動 事後学習に続く	<input type="checkbox"/> 児童を教室まで移動させる	<input type="checkbox"/> 静かに移動する

#### ■評価ポイント

1. 緊急地震速報を聞いて身を守る適切な対応がとれたか
2. 「おかしもち」を守って、安全に校庭まで移動することができたか

#### ■関連学習

1. 本事前学習を初めとして「事前学習→実践訓練→事後学習」という学習プログラムで、緊急地震速報を用いた対応行動・避難行動を学び・習うことができる
2. 訓練形態を「教室(普通教室)」以外に設定することで、教職員が近くにいなくても、その場に応じた対応行動を学び・習うことができる
3. 訓練日時を周知しない「抜き打ち訓練」がより効果的である
4. 小学校高学年は、緊急地震速報の原理などの「理科学習」につなげることができる

※標準的な訓練プログラムのため各学校の実情を反映した内容にする必要あり

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報による対応訓練(ショート訓練)		
ねらい (学習目標)	1. 緊急地震速報の事前学習を生かし、緊急地震速報を聞いた時に自分の判断で自分の身を守る対応行動を習得させる		
対象学年	小学生全般		
教科・イベント等	緊急地震速報による対応訓練(ショート訓練)		
訓練形態	教室（普通教室）		計5分
準備	緊急地震速報訓練キット（チャイム音+アナウンス+地震の揺れの効果音）（気象庁） 緊急地震速報訓練用音源（津波に備える）（気象庁）		

■学習の流れ

構成	内容	教職員の行動	児童の行動
1 緊急地震速報 (2分)	緊急地震速報のチャイム音（4回）とアナウンス「地震です。落ち着いて身を守ってください」  地震の揺れの効果音	<input type="checkbox"/> 出入口を空けて通路を確保する <input type="checkbox"/> 児童の行動については教職員側から指示をしない  <input type="checkbox"/> 机の下にもぐれない／上手く行動ができない児童に対しては、教職員から指示を与える <input type="checkbox"/> 効果音の最中に、机から出てきた児童に対しては注意する	<input type="checkbox"/> 緊急地震速報を聞いたら、自らの判断で、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所へ移動し身を守る <input type="checkbox"/> 教室では、机の下にもぐり、机の脚を対角線にしっかりつかみ、揺れが収まるまで待つ
2 訓練放送 (3分)	放送「訓練、訓練、訓練。緊急地震速報による訓練です。みなさん、自分の身を守る行動がとれましたか。これで訓練を終了します。（振り返りをする場合）この後、教室で振り返りをしてください」	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、児童が自分の判断で身を守る行動がとれたかを観察する ※近くの机に潜ることを指導  <input type="checkbox"/> 訓練の振り返りを行う(事後学習などで指導する)	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、引き続き机の下で退避行動をとる <input type="checkbox"/> 教職員や校内放送の指示を、静かにきく  <input type="checkbox"/> 自分の行動を振り返る(事後学習などで学習する)

■評価ポイント

1. 緊急地震速報を聞いて身を守る適切な対応がとれたか
-----------------------------

■関連学習

1. 本事前学習を初めとして「事前学習→実践訓練→事後学習」という学習プログラムで、緊急地震速報を用いた対応行動を学び・習うことができる
2. ショート訓練は日時を周知しない「抜き打ち訓練」として利用することができる
3. 小学校高学年は、緊急地震速報の原理などの「 <u>理科学習</u> 」につなげることができる

※標準的な訓練プログラムのため各学校の実情を反映した内容にする必要あり

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報による対応訓練【ショート訓練／抜き打ち】		
ねらい (学習目標)	1. 緊急地震速報の事前学習を生かし、緊急地震速報を聞いた時に自分の判断で自分の身を守る対応行動を習得させる		
対象学年	小学生全般		
教科・イベント等	緊急地震速報による対応訓練（ショート訓練／抜き打ち）		
訓練形態	学校内（休み時間）		計5分
準備	緊急地震速報訓練キット（チャイム音＋アナウンス＋地震の揺れの効果音）（気象庁） 緊急地震速報訓練用音源（津波に備える）（気象庁）		

■学習の流れ

構成	内容	教職員の行動	児童の行動
1 緊急地震速報 (2分)	緊急地震速報のチャイム音（4回）とアナウンス「地震です。落ち着いて身を守ってください」  地震の揺れの効果音	<input type="checkbox"/> 児童の行動については教職員側から指示をしない <input type="checkbox"/> その場で身を守る行動ができない児童に対しては、教職員から指示を与える  <input type="checkbox"/> 効果音が流れても動いている児童には、その場で退避行動するよう指示を与える	<input type="checkbox"/> 緊急地震速報を聞いたら、自らの判断で、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所へ移動し身を守る <input type="checkbox"/> 教室以外の児童は、その場に応じた退避行動をとり、揺れが収まるまで待つ ※効果音が流れる前に、しっかり退避行動をとる <input type="checkbox"/> 放送をしっかりと聞く
2 訓練放送 (3分)	放送「訓練、訓練、訓練。緊急地震速報による訓練です。みなさん、その場で自分の身を守る行動がとれましたか。地震は教室にいる時にだけ発生するとは限りません。いつでも今日のような行動をしてください。これで訓練を終了します。（振り返りをする場合）この後、教室で振り返りをしてください」	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、児童が自分の判断で身を守る行動がとれたかを観察する <input type="checkbox"/> 危険な場所で退避行動をとっている児童には、より安全な場所がどこかを指導する <input type="checkbox"/> 訓練の振り返りを行う(事後学習などで指導する)	<input type="checkbox"/> 放送を受けて、引き続きその場で退避行動をとる <input type="checkbox"/> 教職員や校内放送の指示を、静かにきく  <input type="checkbox"/> 自分の行動を振り返る(事後学習などで学習する)

■評価ポイント

1. 緊急地震速報を聞いて身を守る適切な対応がとれたか
-----------------------------

■関連学習

1. 訓練形態を「教室（普通教室）」以外に設定することで、教職員が近くにいなくても、その場に応じた対応行動を学び・習うことができる
2. 訓練日時を周知しない「抜き打ち訓練」を効果的に利用することにより、訓練の形骸化を防止できる
3. 小学校高学年は、緊急地震速報の原理などの「理科学習」につなげることができる